

【R1-E5】

「矯正歯科治療前後の顎顔面 3 次元形態の分類基準の確立」

1. 研究の対象

2014 年 4 月～2024 年 3 月に当院で矯正治療あるいは手術を受けられる唇顎口蓋裂および顎変形症の患者さんを対象に実施されます。

2. 研究目的・方法

この研究の目的は、治療前後の軟組織形態の分類基準を確立するシステムを開発することにあります。

治療前後の骨の形態・位置と、頬、唇、鼻、オトガイ等の軟組織の形態の関係が明らかになることによって、矯正治療や顎の手術によってどのような顔に変化するか、科学的な根拠に基づいたシミュレーションが可能になります。

矯正治療あるいは顎の手術適応と診断された患者さんは、通常の検査としてエックス線画像および非接触型 3 次元デジタルカメラを用い、適宜 3 次元顔画像を撮影しています。それらの画像のうち、この研究では治療前および治療後（手術後）の画像を分析し、治療前後の変化を明らかにします。

なお、画像については個人が特定されないよう匿名化して取り扱います。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

情報：性別、年齢、病歴など

資料：エックス線画像、顔貌写真（2 次元、3 次元）、上下顎歯列模型等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

紹介先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪大学歯学部附属病院 矯正科

研究責任者：谷川千尋

連絡先：06-6879-2360